

不凍水栓柱

D-X3 / D-X3W / D-MB / D-A
D-AE / D-AR / D-ARF / D-ASR

工事店様用

施工説明書

公益社団法人日本水道協会品質認証センター認証登録品

- この度は、不凍水栓柱をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。
- 本製品は、水抜きハンドルを操作することにより、器具内の水を抜いて凍結を防止する機能を持った水栓柱です。
- 取扱説明書に貴店名を明記の上、お客様にお渡し下さい。



施工説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について


危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。


 警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 注意	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

図記号の種類と意味

 してはいけないこと。(行為の禁止)
 注意すること。(注意の喚起)
 必ず行うこと。(行為の強制・指示)

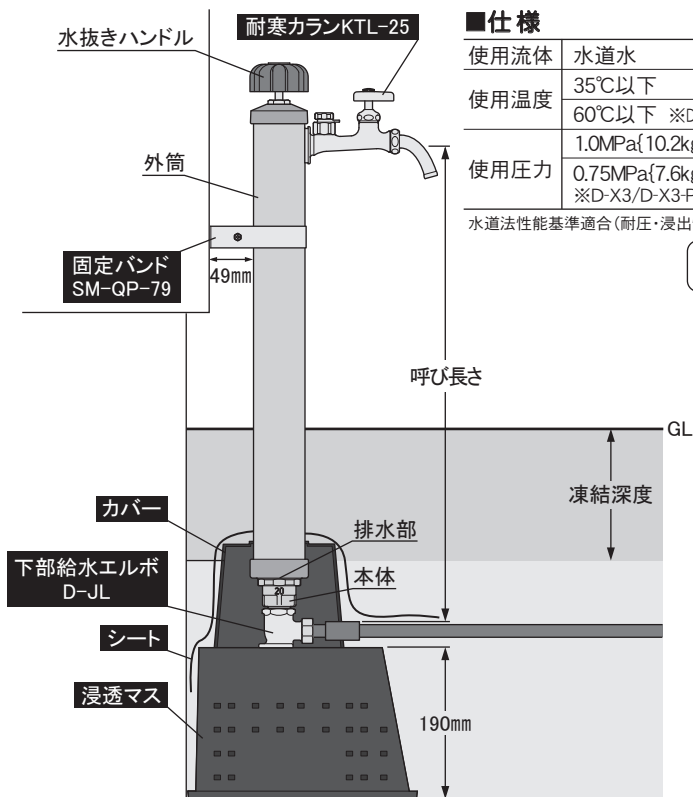
注意

- ・器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
- ・保護キャップは配管直前まではずさないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
- ・本体以外に工具をくわえないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・水栓金具(蛇口等)や外筒をつかんで無理に回さないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・ 破工検査時、器具の2次側から加圧しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・竣工検査後、水抜きハンドルで圧抜きをしないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ・寒冷地仕様以外の水栓は使用しないで下さい。寒冷地仕様以外の水栓は、開閉しても空気が入らず水が抜けないため、凍結破損し、漏水の恐れがあります。
- ・ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。

- ・ステンレス配管を接続する際は、絶縁処理を適切におこなって下さい。電食の恐れがあります。
- ・作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
- ・管軸に対して操作部を垂直・上向きに施工して下さい。作動不良の原因になります。
- ・排水部を凍結深度以下に設置して下さい。埋設が浅いと凍結破損し、漏水の恐れがあります。
- ・排水部周辺は、浸透マス・排水ブロック・砂利・碎石等を用いて、水はけをよくして下さい。水はけが悪いと凍結破損し、漏水の恐れがあります。
- ・ 水抜きハンドルが確実に回せる空間を確保して下さい。水抜きハンドルが確実に回せないで凍結破損し、漏水の恐れがあります。
- ・施工前、配管接続部の清掃をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- ・施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- ・仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。

TAKEMURA

D-A 施工例と各部名称



仕様

使用流体	水道水
使用温度	35°C以下 60°C以下 ※D-X3/D-X3-PP/D-X3W/D-ASR
使用圧力	1.0MPa{10.2kgf/cm ² }以下 0.75MPa{7.6kgf/cm ² }以下 ※D-X3/D-X3-PP/D-X3W

水道法性能基準適合(耐圧・浸出性能)

■ オプション

施工方法

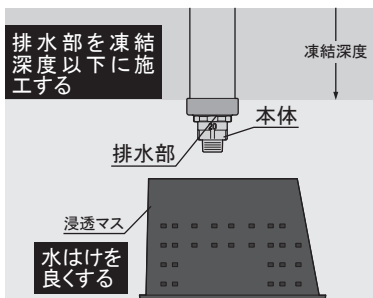
1. 配管前に…

- ① メンテナンスのため、上部に立上り管一式(内部構造)が抜き出せる場所を選んで下さい。
- ② 排水部を必ず凍結深度以下に施工して下さい。
- ③ 水を抜いた時、排水が確実に浸透する施工をおこなって下さい。
- ④ 水抜きハンドルと壁を40mm以上離して施工して下さい。

- ❗ 排水部をふさがない
- ❗ 浸透マス・排水ブロック等を使用する

壁から40mm以上離す

呼び長さ以上の空間を確保する



2. エルボの接続

エルボの接続は、吐水口の向きと配管方向を確認して、本体に工具をくわえてしっかり締め付けて下さい。

※シール剤を本体内部に入れしないで下さい。

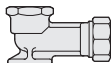
※鋼管継手と本体接続には、管端防食コアは使わないで下さい。

■オプション

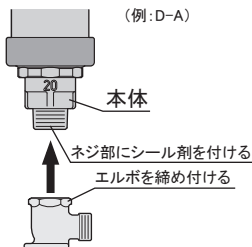
D-A/D-AE/D-X3は、下部給水エルボまたはポリ給水エルボを使うと簡単・確実な施工ができます。



下部給水エルボD-JL

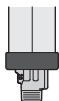


ポリ給水エルボP-JY



- ❗ 本体接続部を清掃する
- ❎ 本体以外は工具をくわえない

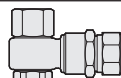
ストレート型本体



D-A/D-AE/D-X3/D-X3W
テーパおねじ

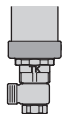
【D-A・D-AEについて】

- ❎ 回転式ポリ給水エルボP-RJYは使用できません。メンテナンスが困難になります。

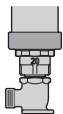


回転式ポリ給水エルボ
P-RJY

エルボ型本体



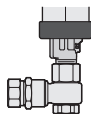
D-AR
平行おねじ



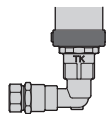
D-ASR
平行おねじ



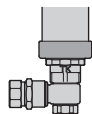
D-MB-BV
D-MB-V
平行おねじ



D-X3-PP
ポリエチレン管継手



D-MB-V-PP
ポリエチレン管継手

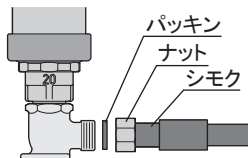


D-ARF
ポリエチレン管継手

3. 配管との接続

- ① 配管種類に合わせて、シモク・ナット、継手等を配管に取り付けます。
- ② ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、エルボと接続します。

- ❎ 竣工検査時、器具の2次側から加圧しない



- ❗ 配管接続部を清掃する

4. 固定バンド・固定板・水栓金具(蛇口等)の取り付け

- ❗ 埋設が浅い場合やポリエチレン管を使用する場合は、必ず固定バンド・固定板を取り付ける

- ① 壁面がある場合は、外筒が動かないように固定バンド(オプション)を、また壁面がない場合は、固定板(オプション)を取り付けるとより安定します。
- ② 水栓金具(蛇口等)を、シール剤を用いて取り付けます。

- ❗ 水栓金具(蛇口等)は、寒冷地仕様(固定コマ)を使用する
- ❎ 設置後、水栓金具(蛇口等)の方向変更はしない

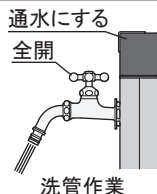
洗管と作動確認

■洗管

施工後、水栓金具(蛇口等)を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■作動確認

洗管後、水抜きハンドルを操作して水が抜ける(排水する)ことを確認して下さい。



操作方法

❗ 水抜き操作をする前に、必ずホースを水栓金具(蛇口等)からはずす

※操作方法については、製品に貼られているラベルにも書かれているのでご覧下さい。

■水抜き操作(凍結防止)

- ①水抜きハンドルを右に止まるまで回します。
- ②水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)
- ③水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

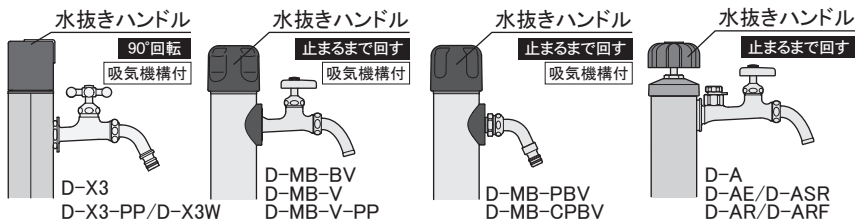
■通水操作

水抜きハンドルを左に止まるまで回します。(通水状態になります)

※水栓金具(蛇口等)を操作してお使い下さい。

⚠ 注意

通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります



お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをお知らせ下さい。

- ・製品名
- ・詳しい状況、内容
- ・その他、お気づきになられたこと
- ・施工日
- ・氏名、住所、電話番号

株式会社 外村製作所

支店・営業所 / 札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フリーダイヤル

イーナフター

0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00